



○同封の、うちわ八月に束ねられ、
お土産にと、七月中に書かれています。
猛暑が、生花は、すぐ駄目になります。
どこかに置いておいてあげればと思ひ、
くずくずと、いる間に夏が去ってしまふ、
私は、こうして玄奘に
置いていきます。
柳絮随風、は、別紙の通り、

○李商隱の詩の篆刻
何斗か前に刻した
もの、その眼と頭が悪く、
うまきは刻せませんでした。
見てこそア、
これは、返送しないで
よう、い、です。不要になれば
もえろぐみに出さず、
○残暑も、なく、きびしい
で、よう、から、くわい、
お体、ご自愛下さい。

H24.11.6
昨日庭に咲いた
バラの字をです
ターバーバーにしています。